

Pathos Tsutsumiは、USAアリゾナ州フェニックス市で開催された乳癌国際会議にて発表。SAYOKOも同行。セントレアから成田へ、成田からロス、ロスからフェニックスへ。飛行時間は、のべ14時間。長旅だ。アリゾナ州は、グランドキャニオンもある。平地は砂漠地帯。ネイティブインディアンの居住したところだ。史跡、casa grande まで、タクシーで行った。往復46000円。高かったが、その風景は、荒野そのもの。何も無い。緑のない岩山とサボテン。きつと大昔からそのままなんだ。 By 砂漠初体験 Sayoko



Tsutsumi先生は発表が仕事。参加国は、USA、カナダ、中国、バングラディッシュ、日本、フランス、スペイン、インド、等から。フェニックスにあるマリOTTホテルは高級なのだが、ホテル内にレストランは1件。外に出てもなにもない。コンビニも当然ない。そこにいるしかない。レストランのメニューは、アメリカン。ハンバーガーが主。私は肉を食べないので、食べられるメニューに限りがあった。朝は、果物とパン。夜は、パンとスープ。ランチは主催サイドから提供されたバイキング料理で、参加者と語りながら楽しくいただきました。出会うひとと食を共にするのは、なかなか楽しい味があります。 一期一会を食すSAYOKO



フェニックスにあるキャンサーサポートセンター、wellness communityを視察した。素敵な戸建の家。そこでは、毎日さまざまなプログラムが開催されている。勉強会、ヨガ、アート、meditationなど、料理教室、専門家によるセッション、等々盛りだくさん。プログラムはカレンダーになっていて、病院等に配布されているとのこと。運営資金はすべてdonation。完全に独立かつ自立した民間活動である。市民中心にこのように活動できるのはさすがアメリカ。がん患者はすべて無料でサポートを受けられる仕組み。センターでは、Donationのためにお手持ちを招待するパーティーを開催もするそうだ。1年に1億円集まるとのこと。職員は健康人で運営。小児がんの子供と親向けのサポートも充実していた。 日本にもこんなサポートセンターがほしい！SAYOKO



患者の作品。このサポートセンターのいたるところに、患者たちの作品が飾られていた。オリジナルアートで素敵でした。



ここを訪問することを前日電話で予約した。スタッフは明るく気さくな女性。「日本でもあなたが始めればよい」と言ってくれたけど・・・

